

「アイヌ政策に関する世論調査」の概要

内閣府政府広報室

- 1 調査目的 アイヌ政策に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。
- 2 調査項目 (1) アイヌという民族について
(2) 「民族共生象徴空間」について
(3) アイヌに関する施策について
- 3 関係省庁 内閣官房（アイヌ総合政策室）
- 4 調査対象 (1) 母集団 全国 18 歳以上の日本国籍を有する者
(2) 標本数 3,000 人
(3) 抽出方法 層化 2 段無作為抽出法
- 5 調査時期 平成 30 年 6 月 28 日～7 月 8 日
- 6 調査方法 調査員による個別面接聴取法
- 7 調査実施機関 一般社団法人 中央調査社
- 8 回収結果 (1) 有効回収数(率) 1,710 人 (57.0%)
(2) 調査不能数(率) 1,290 人 (43.0%)
－不能内訳－
転居 111 長期不在 78 一時不在 507
住所不明 32 拒否 483 その他 79
(病気など)

9 性・年齢別回収結果

性・年齢	標本数	回収数	回収率	性・年齢	標本数	回収数	回収率	性・年齢	標本数	回収数	回収率			
			%				%				%			
男	18～19歳	76	37	48.7	男	18～19歳	41	21	51.2	女	18～19歳	35	16	45.7
	20～29歳	309	137	44.3	男	20～29歳	136	66	48.5	女	20～29歳	173	71	41.0
	30～39歳	407	204	50.1		30～39歳	199	85	42.7		30～39歳	208	119	57.2
女	40～49歳	506	272	53.8		40～49歳	275	135	49.1		40～49歳	231	137	59.3
	50～59歳	474	281	59.3		50～59歳	258	144	55.8		50～59歳	216	137	63.4
計	60～69歳	488	322	66.0	性	60～69歳	237	154	65.0	性	60～69歳	251	168	66.9
	70歳以上	740	457	61.8		70歳以上	332	217	65.4		70歳以上	408	240	58.8
計		3,000	1,710	57.0	計		1,478	822	55.6	計		1,522	888	58.3

調査結果の概要

1 アイヌという民族について

(1) アイヌに関する周知度

アイヌという民族がいることを知っているか聞いたところ、「知っている」と答えた者の割合が94.2%、「知らない」と答えた者の割合が5.3%となっている。

都市規模別に見ると、「知っている」と答えた者の割合は大都市で高くなっている。

性別に見ると、「知っている」と答えた者の割合は男性で高くなっている。

年齢別に見ると、「知っている」と答えた者の割合は60歳代で高くなっている。

(図1、表1)

図1 アイヌに関する周知度

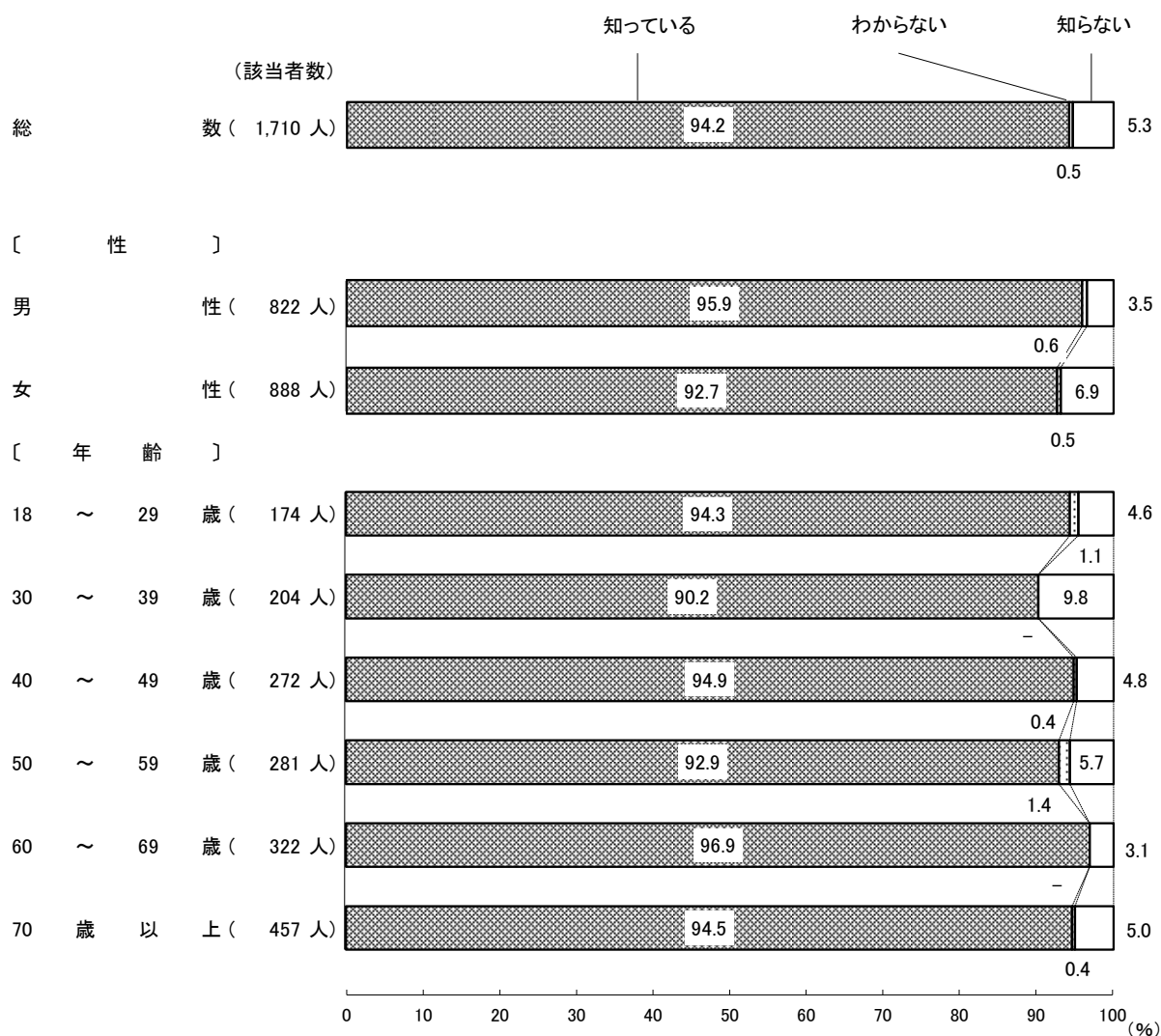


表1 アイヌに関する周知度

	該 当 者 数	知 つ て い る	知 ら な い	わ か ら な い
	人	%	%	%
総 〔都市規模〕	1,710	94.2	5.3	0.5
大 都 市	448	96.7	2.9	0.4
東 京 都 区 部	110	98.2	1.8	-
政 令 指 定 都 市	338	96.2	3.3	0.6
中 都 市	697	94.7	5.3	-
小 都 市	403	91.1	7.4	1.5
町 村	162	93.2	6.2	0.6
〔性〕				
男 性	822	95.9	3.5	0.6
女 性	888	92.7	6.9	0.5
〔年齢〕				
18 ～ 29 歳	174	94.3	4.6	1.1
30 ～ 39 歳	204	90.2	9.8	-
40 ～ 49 歳	272	94.9	4.8	0.4
50 ～ 59 歳	281	92.9	5.7	1.4
60 ～ 69 歳	322	96.9	3.1	-
70 歳 以 上	457	94.5	5.0	0.4
〔従業上の地位〕				
雇 用 者	824	92.7	6.6	0.7
自 営 業 主	145	97.9	2.1	-
家 族 従 業 者	25	100.0	-	-
無 職	714	95.0	4.6	0.4
主 婦	374	95.2	4.3	0.5
主 夫	30	96.7	3.3	-
学 生	47	95.7	4.3	-
そ の 他 の 無 職	263	94.3	5.3	0.4
無 回 答	2	100.0	-	-
〔職業〕				
管理・専門技術・事務職	429	94.9	4.7	0.5
管 理 職	54	96.3	3.7	-
専 門 ・ 技 術 職	174	94.8	4.6	0.6
事 務 職	201	94.5	5.0	0.5
販売・サービス・保安職	278	93.5	5.4	1.1
農 林 漁 業 職	27	100.0	-	-
生産・輸送・建設・労務職	253	90.9	8.7	0.4
無 回 答	7	100.0	-	-

表1-参考 アイヌに関する周知度

	該 当 者 数	知 つ て い る	知 ら な い	わ か ら な い
	人	%	%	%
平成25年10月調査	1,745	95.3	3.8	0.9

ア アイヌについて知っている事項（全般）

アイヌという民族がいることを「知っている」と答えた者（1,611人）に、アイヌについてどのようなことを知っているか聞いたところ、「アイヌの人々が先住民族であるということ」を挙げた者の割合が77.3%と最も高く、以下、「アイヌの人々が独自の伝統的文化を形成してきたこと」（65.7%）、「明治時代以降、多くのアイヌの人々が非常に貧しく独自の文化を制限された生活を余儀なくされたこと」（40.0%）などの順となっている。（複数回答、上位3項目）

都市規模別に見ると、「アイヌの人々が先住民族であるということ」、「アイヌの人々が独自の伝統的文化を形成してきたこと」、「明治時代以降、多くのアイヌの人々が非常に貧しく独自の文化を制限された生活を余儀なくされたこと」を挙げた者の割合は大都市で高くなっている。

性別に見ると、「明治時代以降、多くのアイヌの人々が非常に貧しく独自の文化を制限された生活を余儀なくされたこと」を挙げた者の割合は男性で高くなっている。

年齢別に見ると、「アイヌの人々が先住民族であるということ」を挙げた者の割合は18～29歳、30歳代で、「明治時代以降、多くのアイヌの人々が非常に貧しく独自の文化を制限された生活を余儀なくされたこと」を挙げた者の割合は60歳代で、それぞれ高くなっている。

（図2、表2）

図2 アイヌについて知っている事項（全般）

（アイヌという民族がいることを「知っている」と答えた者に、複数回答）

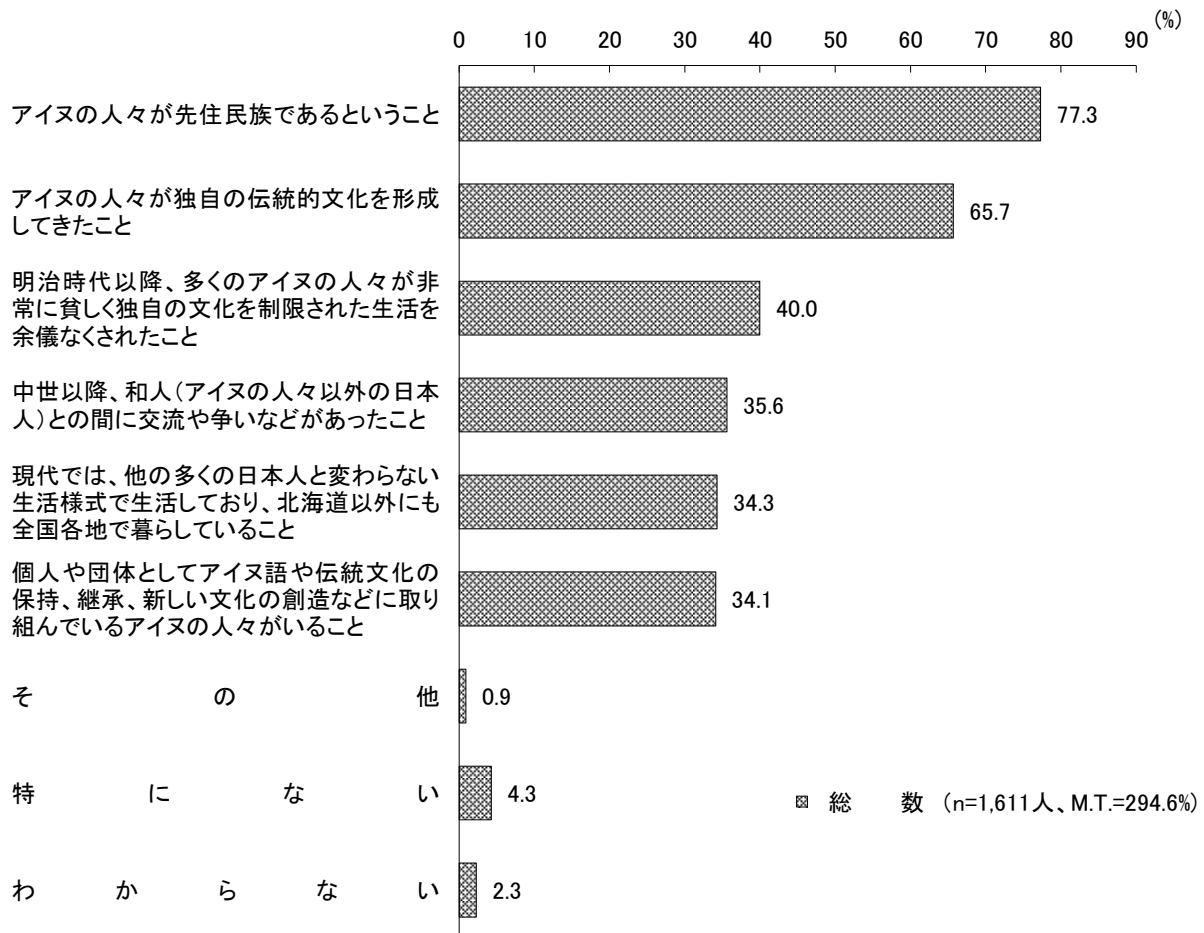


表2 アイヌについて

	該 当 者 数	アイヌの人々 が先住民族 である こと	アイヌの人々 が独自の 伝統的文 化を形成 してきた こと	明治時代 以降、多 くのアイ ヌの文 化を制 限され たこと	中世以降、 和（アイ ヌの人々 ）との間 に交流 がな された こと	現代では、 他の多 くの日 本人と おなじ く生活 している こと
	人	%	%	%	%	%
総数	1,611	77.3	65.7	40.0	35.6	34.3
〔都市規模〕						
大都市	433	82.4	71.4	48.0	41.3	37.6
東京都区部	108	80.6	75.0	55.6	42.6	42.6
政令指定都市	325	83.1	70.2	45.5	40.9	36.0
中都市	660	76.8	65.5	38.6	32.6	34.8
小都市	367	71.9	60.5	34.6	34.6	31.1
町	151	78.1	62.9	35.8	35.1	29.8
〔性〕						
男性	788	78.7	65.9	43.8	40.2	37.3
女性	823	76.1	65.5	36.3	31.2	31.3
〔年齢〕						
18～29歳	164	87.2	65.9	38.4	43.3	28.0
30～39歳	184	83.2	63.6	31.5	33.2	32.1
40～49歳	258	81.4	65.1	37.2	33.7	30.6
50～59歳	261	80.5	67.0	41.4	33.0	34.5
60～69歳	312	75.0	68.6	45.5	37.8	40.7
70歳以上	432	68.5	63.9	41.0	35.0	35.0
〔従業上の地位〕						
雇用者	764	81.2	65.8	38.9	34.6	34.6
自営業主	142	76.1	62.7	42.3	31.7	37.3
家族従業者	25	76.0	72.0	52.0	48.0	40.0
無職	678	73.5	65.9	40.3	37.2	33.0
主婦	356	73.6	64.6	36.5	32.0	32.0
主夫	29	69.0	75.9	51.7	34.5	27.6
学生	45	93.3	77.8	48.9	57.8	28.9
その他の無職	248	70.2	64.5	42.7	41.1	35.9
無回答	2	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
〔職業〕						
管理・専門技術・事務職	407	86.7	76.2	47.2	42.5	40.3
管理職	52	90.4	88.5	53.8	48.1	63.5
専門・技術職	165	91.5	80.0	53.3	49.1	40.6
事務職	190	81.6	69.5	40.0	35.3	33.7
販売・サービス・保安職	260	76.9	63.1	32.7	31.2	34.6
農林漁業職	27	70.4	59.3	51.9	33.3	40.7
生産・輸送・建設・労務職	230	74.8	50.4	33.5	24.3	25.2
無回答	7	42.9	57.1	28.6	28.6	57.1

知っている事項（全般）

（アイヌという民族がいることを「知っている」と答えた者に、複数回答）

アイヌの文化や造人などがいること	その他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M. T.)
%	%	%	%	%
34.1	0.9	4.3	2.3	294.6
36.5	0.2	3.0	1.6	322.2
41.7	-	1.9	3.7	343.5
34.8	0.3	3.4	0.9	315.1
31.4	1.1	3.6	1.7	286.1
35.4	1.9	6.3	4.6	280.9
36.4	-	6.6	1.3	286.1
36.0	0.6	4.4	2.0	309.0
32.3	1.2	4.3	2.6	280.8
33.5	-	4.3	1.2	301.8
28.3	0.5	3.3	1.1	276.6
29.8	0.4	4.3	0.8	283.3
37.9	1.9	3.4	1.5	301.1
41.3	1.3	4.8	2.6	317.6
31.9	0.9	5.1	4.4	285.6
33.5	0.7	4.1	1.3	294.5
38.7	0.7	5.6	2.1	297.2
52.0	-	-	-	340.0
33.2	1.3	4.4	3.5	292.3
30.3	2.0	3.1	3.9	278.1
31.0	-	3.4	-	293.1
44.4	-	2.2	-	353.3
35.5	0.8	6.9	4.0	301.6
50.0	-	50.0	-	350.0
41.8	0.5	2.0	-	337.1
57.7	1.9	-	-	403.8
39.4	0.6	-	-	354.5
39.5	-	4.2	-	303.7
30.0	0.8	5.0	2.7	276.9
44.4	-	11.1	-	311.1
26.1	0.9	5.7	2.6	243.5
57.1	-	28.6	-	300.0

表2－参考 アイヌについて知っている事項（全般）

（アイヌという民族がいることを「知っている」と答えた者に、複数回答）

	該 当 者 数	アイヌの人々が先住民族であるということ	アイヌが独自の伝統的文化を形成していること	アイヌの人々が北海道や首都圏など全国各地で暮らしていること	北海道・近世において和人と抗争した、近代の北	先住民族の権利に関する国際連合宣言が採択されたこと	その他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M. T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成 25 年 10 月 調 査	1,663	68.3	65.7	48.0	38.1	10.8	1.4	4.0	2.6	238.8

イ アイヌについて知っている事項（文化）

アイヌという民族がいることを「知っている」と答えた者（1,611人）に、アイヌ文化についてどのようなことを知っているか聞いたところ、「衣服や服飾品を彩る独特なアイヌ文様があること」を挙げた者の割合が65.3%、「アイヌ語という独自の言語があること」を挙げた者の割合が64.6%と高く、以下、「盆や衣服などアイヌ独自の伝統的な工芸品があること」（39.0%）、「伝統的な古式舞踊があること」（37.9%）、「豊かな表現で語り伝えてきた口承文芸・民話があること」（37.1%）、「アイヌ独自の民族楽器があること」（34.9%）、「アイヌ独自の信仰・儀式があること」（32.7%）などの順となっている。（複数回答、上位7項目）

都市規模別に見ると、「衣服や服飾品を彩る独特なアイヌ文様があること」、「アイヌ語という独自の言語があること」、「豊かな表現で語り伝えてきた口承文芸・民話があること」を挙げた者の割合は大都市で高くなっている。

性別に見ると、「アイヌ独自の信仰・儀式があること」を挙げた者の割合は男性で高くなっている。

年齢別に見ると、「アイヌ語という独自の言語があること」を挙げた者の割合は40歳代、50歳代で、「盆や衣服などアイヌ独自の伝統的な工芸品があること」、「伝統的な古式舞踊があること」、「アイヌ独自の民族楽器があること」を挙げた者の割合は60歳代、70歳以上で、「豊かな表現で語り伝えてきた口承文芸・民話があること」を挙げた者の割合は60歳代で、「アイヌ独自の信仰・儀式があること」を挙げた者の割合は70歳以上で、それぞれ高くなっている。

（図3、表3）

図3 アイヌについて知っている事項（文化）

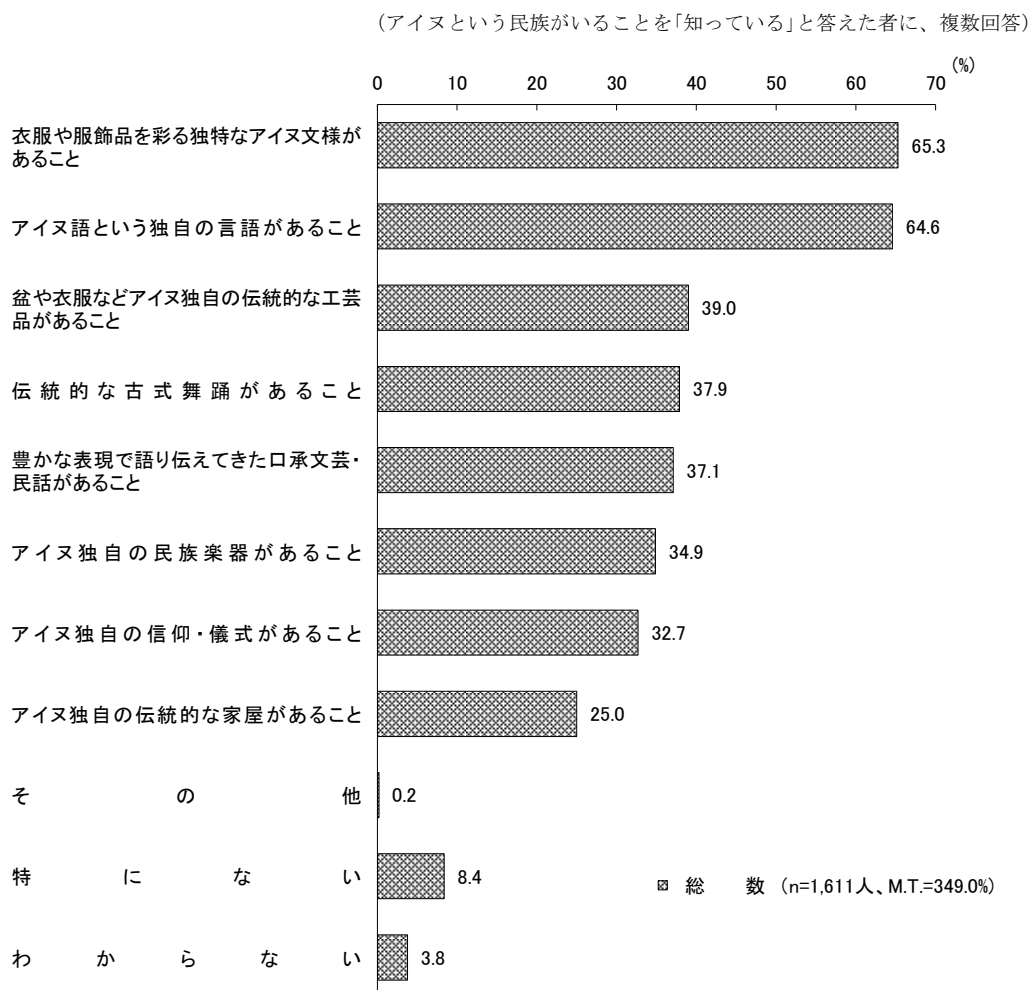


表3 アイヌについて

	該 当 者 数	衣 服 や ア イ ヌ 文 様 が あ る こ と	ア イ ヌ 語 と い う 独 自 の 言 語 が あ る こ と	盆 や 衣 服 な ど ア イ ヌ が あ る こ と	伝 統 的 な 古 式 舞 踊 が あ る こ と	豊 かな 表 現 で 語 り 伝 え あ て る こ と	ア イ ヌ 独 自 の 民 族 楽 器 が あ る こ と
	人	%	%	%	%	%	%
総数	1,611	65.3	64.6	39.0	37.9	37.1	34.9
〔都市規模〕							
大都市	433	70.2	69.3	42.0	40.9	43.2	36.7
東京都区	108	73.1	75.9	45.4	40.7	52.8	42.6
政令指定都市	325	69.2	67.1	40.9	40.9	40.0	34.8
中都市	660	66.5	64.7	38.6	35.9	35.5	35.8
小都市	367	58.3	57.2	36.8	39.0	34.1	30.5
町村	151	62.9	68.2	37.1	35.8	34.4	37.1
〔性〕							
男性	788	63.1	65.5	39.8	37.7	39.2	33.9
女性	823	67.4	63.7	38.2	38.2	35.1	36.0
〔年齢〕							
18～29歳	164	59.8	70.1	26.8	20.1	29.3	22.0
30～39歳	184	58.7	70.7	25.5	19.0	32.6	23.4
40～49歳	258	66.3	72.5	27.9	23.3	33.3	27.1
50～59歳	261	67.0	71.3	39.8	36.4	39.1	30.3
60～69歳	312	67.6	60.6	51.0	49.7	43.6	47.8
70歳以上	432	66.9	53.9	46.8	53.9	38.4	43.1
〔従業上の地位〕							
雇用者	764	63.9	69.2	35.9	29.5	36.6	29.6
自営業主	142	62.7	61.3	40.8	40.8	38.7	35.9
家族従業者	25	76.0	64.0	56.0	52.0	48.0	56.0
無職	678	67.1	60.0	41.6	46.5	37.0	40.1
主婦	356	68.5	61.0	40.2	44.4	36.0	40.4
主夫	29	75.9	55.2	41.4	55.2	41.4	44.8
学生	45	66.7	75.6	26.7	31.1	37.8	20.0
その他の無職	248	64.1	56.5	46.4	51.2	37.9	42.7
無回答	2	50.0	50.0	-	-	-	-
〔職業〕							
管理・専門技術・事務職	407	69.8	75.2	41.5	35.1	45.2	36.1
管理職	52	75.0	80.8	46.2	50.0	55.8	42.3
専門・技術職	165	77.6	80.0	44.8	43.6	49.7	41.8
事務職	190	61.6	69.5	37.4	23.7	38.4	29.5
販売・サービス・保安職	260	61.5	67.7	34.2	31.9	33.8	26.9
農林漁業職	27	55.6	55.6	48.1	44.4	48.1	40.7
生産・輸送・建設・労務職	230	58.7	56.5	31.3	24.3	25.7	26.5
無回答	7	28.6	71.4	42.9	28.6	42.9	28.6

知っている事項（文化）

（アイヌという民族がいることを「知っている」と答えた者に、複数回答）

アイヌ独自の信仰・儀式があること	アイヌ独自の伝統的な家屋があること	その他	特にない	わからない	計 (M. T.)
%	%	%	%	%	%
32.7	25.0	0.2	8.4	3.8	349.0
36.3	25.2	-	7.2	2.1	373.0
37.0	27.8	-	5.6	2.8	403.7
36.0	24.3	-	7.7	1.8	362.8
33.2	23.5	0.2	8.2	3.8	345.8
29.7	25.9	0.5	10.6	6.3	328.9
27.8	29.1	0.7	7.3	3.3	343.7
35.5	26.9	0.4	9.4	4.3	355.7
30.0	23.2	0.1	7.4	3.4	342.6
28.0	20.1	-	9.1	3.7	289.0
28.8	15.2	-	8.2	2.2	284.2
26.7	19.8	-	6.6	3.1	306.6
28.7	23.4	0.4	8.4	3.1	347.9
35.9	30.8	0.6	7.4	3.5	398.4
39.8	31.0	0.2	10.0	5.8	389.8
29.7	21.3	0.3	8.1	3.1	327.2
31.0	29.6	0.7	11.3	2.8	355.6
32.0	32.0	-	8.0	-	424.0
36.4	28.0	0.1	8.0	5.0	369.9
33.4	22.8	-	6.5	4.5	357.6
44.8	37.9	-	6.9	10.3	413.8
37.8	31.1	-	4.4	2.2	333.3
39.5	33.9	0.4	10.9	5.6	389.1
50.0	-	-	50.0	-	200.0
34.2	24.3	0.2	6.4	1.5	369.5
42.3	30.8	1.9	5.8	1.9	432.7
40.6	27.9	-	1.8	0.6	408.5
26.3	19.5	-	10.5	2.1	318.4
26.9	21.5	0.4	8.5	3.8	317.3
37.0	25.9	-	18.5	-	374.1
25.2	21.7	0.4	11.3	4.8	286.5
28.6	14.3	-	14.3	14.3	314.3

表3-参考 アイヌについて知っている事項（文化）

（アイヌという民族がいることを「知っている」と答えた者に、複数回答）

	該 当 者 数	衣服や服飾品を彩る独特なアイヌ文様があること	アイヌ語という独自の言語を用いていること	盆や衣服などアイヌ独自の伝統的な工芸品があること	伝統的な古式舞踊があること	口伝えによる豊かな表現で、語り伝えてきた口承文芸・民話があること	アイヌ独自の民族楽器があること	アイヌ独自の信仰・儀式があること	アイヌ独自の伝統的な家屋があること	その他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M. T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	
平成25年10月調査	1,663	71.4	56.6	46.1	45.0	41.9	41.6	36.6	28.8	0.3	7.1	4.1	379.3

(2) アイヌを知っていただくために重点的に行うべき取組

アイヌという民族について国民に知ってもらうために、どのような取組を重点的に行うべきか聞いたところ、「テレビ番組や新聞を利用した情報発信」を挙げた者の割合が 67.2%と最も高く、以下、「アイヌの伝統的食事・衣服・楽器などの体験機会の提供」(35.3%)、「インターネットによる広報活動」(34.8%)、「講演会・シンポジウム・フォーラム・交流イベントの開催」(24.4%)などの順となっている。(複数回答、上位4項目)

性別に見ると、「アイヌの伝統的食事・衣服・楽器などの体験機会の提供」を挙げた者の割合は女性で、「インターネットによる広報活動」を挙げた者の割合は男性で、それぞれ高くなっている。

年齢別に見ると、「テレビ番組や新聞を利用した情報発信」、「講演会・シンポジウム・フォーラム・交流イベントの開催」を挙げた者の割合は50歳代で、「アイヌの伝統的食事・衣服・楽器などの体験機会の提供」を挙げた者の割合は30歳代で、「インターネットによる広報活動」を挙げた者の割合は18～29歳、40歳代で、それぞれ高くなっている。(図4、表4)

図4 アイヌを知っていただくために重点的に行うべき取組

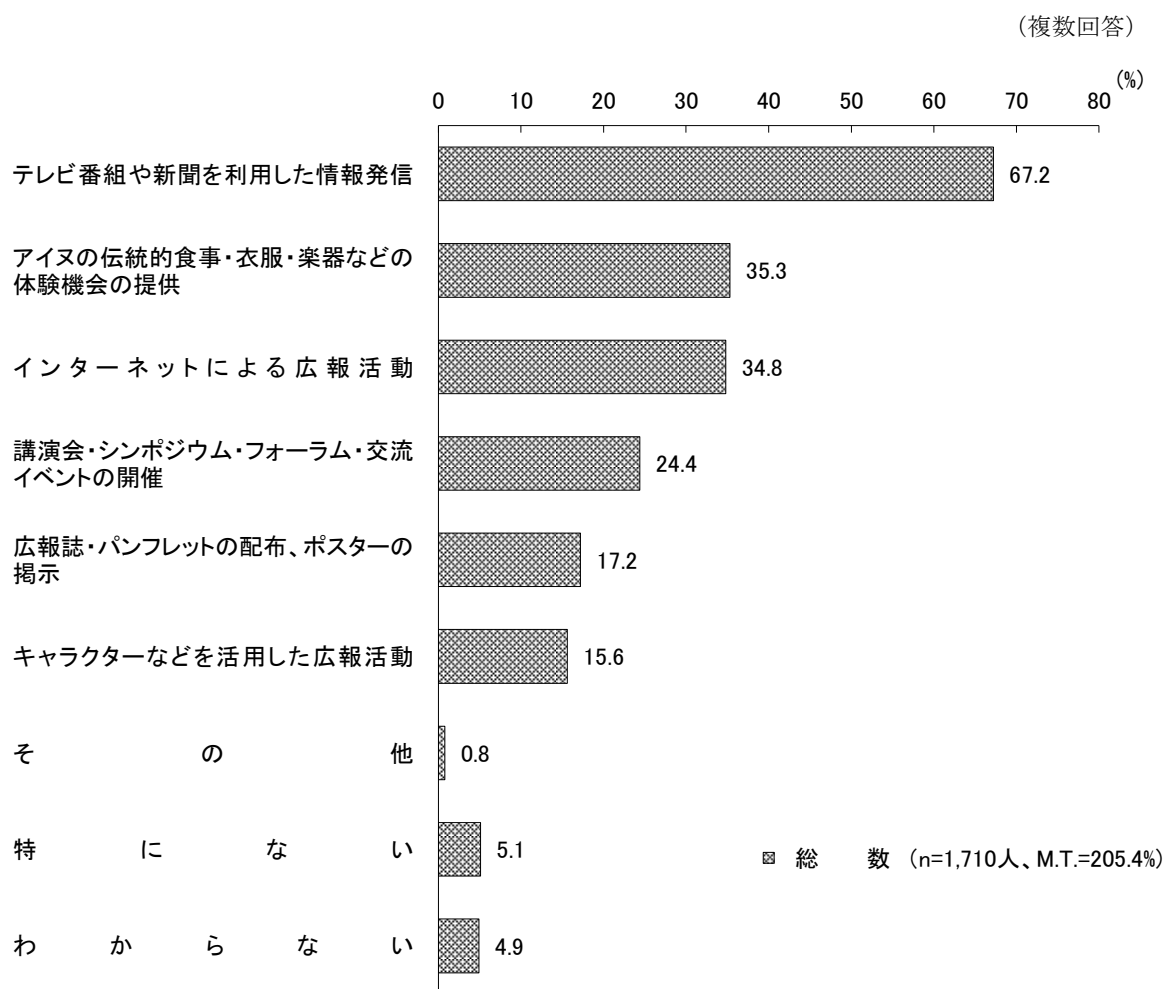


表4 アイヌを知っていただくために重点的に行うべき取組

(複数回答)

	該 当 者 数	テ レ ビ 番 組 や 新 聞 を 利 用 し た 情 報 発 信	ア イ ヌ の 伝 統 的 食 事 ・ 衣 服 ・ 楽 器 な ど の 体 験 機 会 の 提 供	イ ン タ ー ネ ッ ト に よ る 広 報 活 動	講 演 会 ・ シ ン ポ ジ ウ ム ・ フ ォ ー ラ ム ・ 交 流 イ ベ ン ト の 開 催	広 報 誌 ・ パ ン フ レ ッ ト の 配 布 、 ポ ス タ ー の 掲 示	キ ャ ラ ク タ ー な ど を 活 用 し た 広 報 活 動	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M. T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,710	67.2	35.3	34.8	24.4	17.2	15.6	0.8	5.1	4.9	205.4
〔都市規模〕											
大都市	448	70.1	37.7	38.2	26.6	19.9	18.3	0.7	4.2	4.2	219.9
東京都区部	110	74.5	45.5	42.7	25.5	19.1	15.5	0.9	2.7	3.6	230.0
政令指定都市	338	68.6	35.2	36.7	26.9	20.1	19.2	0.6	4.7	4.4	216.6
中都市	697	66.3	35.3	33.9	24.1	16.9	14.1	0.9	5.9	4.9	202.2
小都市	403	65.8	33.0	31.8	23.8	16.1	15.4	1.0	5.7	5.7	198.3
町	162	66.7	34.6	37.0	21.6	13.6	15.4	0.6	3.1	4.3	196.9
〔性〕											
男性	822	65.5	32.0	38.9	23.5	16.9	15.7	1.0	5.8	3.8	203.0
女性	888	68.8	38.4	31.0	25.3	17.5	15.5	0.7	4.5	5.9	207.5
〔年齢〕											
18～29歳	174	69.5	40.8	48.9	23.6	13.8	27.6	0.6	-	2.3	227.0
30～39歳	204	69.1	42.6	40.2	20.6	14.7	23.5	-	0.5	2.0	213.2
40～49歳	272	71.0	38.2	44.5	21.7	13.2	18.4	0.7	3.7	0.4	211.8
50～59歳	281	74.0	37.7	37.0	29.9	18.9	15.7	1.4	2.1	5.0	221.7
60～69歳	322	64.9	35.4	35.4	27.3	22.7	11.8	0.9	6.2	4.0	208.7
70歳以上	457	60.6	26.7	19.5	22.8	17.1	8.5	0.9	11.2	10.3	177.5
〔従業上の地位〕											
雇用者	824	70.8	39.4	39.9	25.7	15.7	18.4	0.8	2.5	2.5	215.9
自営業	145	57.2	31.0	31.0	24.1	14.5	11.7	1.4	9.7	4.1	184.8
家族従業者	25	64.0	44.0	28.0	24.0	24.0	16.0	-	8.0	4.0	212.0
無職	714	65.3	31.1	29.8	23.1	19.3	13.2	0.7	7.1	7.6	197.2
主婦	374	69.3	35.6	28.1	23.5	20.9	13.4	0.8	5.3	6.1	202.9
主夫	30	76.7	26.7	23.3	26.7	26.7	16.7	-	-	6.7	203.3
学生	47	72.3	46.8	61.7	36.2	17.0	23.4	-	-	-	257.4
その他の無職	263	57.0	22.4	27.4	19.8	16.7	10.6	0.8	11.8	11.0	177.6
無回答	2	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	50.0	200.0
〔職業〕											
管理・専門技術・事務職	429	68.5	43.8	41.3	29.1	16.8	18.2	1.2	2.8	2.3	224.0
管理職	54	81.5	38.9	48.1	33.3	18.5	14.8	3.7	3.7	1.9	244.4
専門・技術職	174	63.8	48.3	37.4	27.0	12.6	18.4	1.7	4.0	3.4	216.7
事務職	201	69.2	41.3	42.8	29.9	19.9	18.9	-	1.5	1.5	224.9
販売・サービス・保安職	278	71.6	36.3	38.1	27.0	15.8	17.6	0.7	2.5	2.9	212.6
農林漁業	27	59.3	40.7	29.6	33.3	18.5	11.1	-	11.1	-	203.7
生産・輸送・建設・労務職	253	66.4	31.6	34.8	17.0	13.4	17.0	0.8	5.9	3.2	190.1
無回答	7	71.4	14.3	28.6	14.3	14.3	-	-	-	28.6	171.4

表4－参考 国民理解の促進に向けて効果的な取組方法

(複数回答)

	該 当 者 数	テレビ番組や新聞を利用した情報提供	再現されたアイヌの伝統的家屋・食事・衣服・楽器の体験	インターネットによる広報活動	講演会・シンポジウム・フォーラム・文化交流イベントの開催	広報紙・パンフレットの配布、ポスターの掲示	キャラクターやロゴマークを活用した親しみやすさを感じる広報活動	その他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成25年10月調査	1,745	72.8	35.5	39.0	30.3	25.0	23.6	1.3	3.3	4.4	235.2
平成28年1月調査	1,727	67.8	29.0	27.5	22.7	15.6	14.6	1.3	7.9	4.1	190.4

(注) 「あなたは、広く国民が、アイヌに関して、関心を深めるためには、どのような方法による取組が効果的だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

2 「民族共生象徴空間」について

(1) 「民族共生象徴空間」の周知度

「民族共生象徴空間」について知っていたか聞いたところ、「知っていた」とする者の割合が9.2%（「知っていた」4.6%+「言葉だけは聞いたことがある」4.7%）、「知らなかった」と答えた者の割合が89.6%となっている。

性別に見ると、大きな差異は見られない。

年齢別に見ると、「知らなかった」と答えた者の割合は18～29歳から40歳代で高くなっていく。

(図5、表5)

図5 「民族共生象徴空間」の周知度

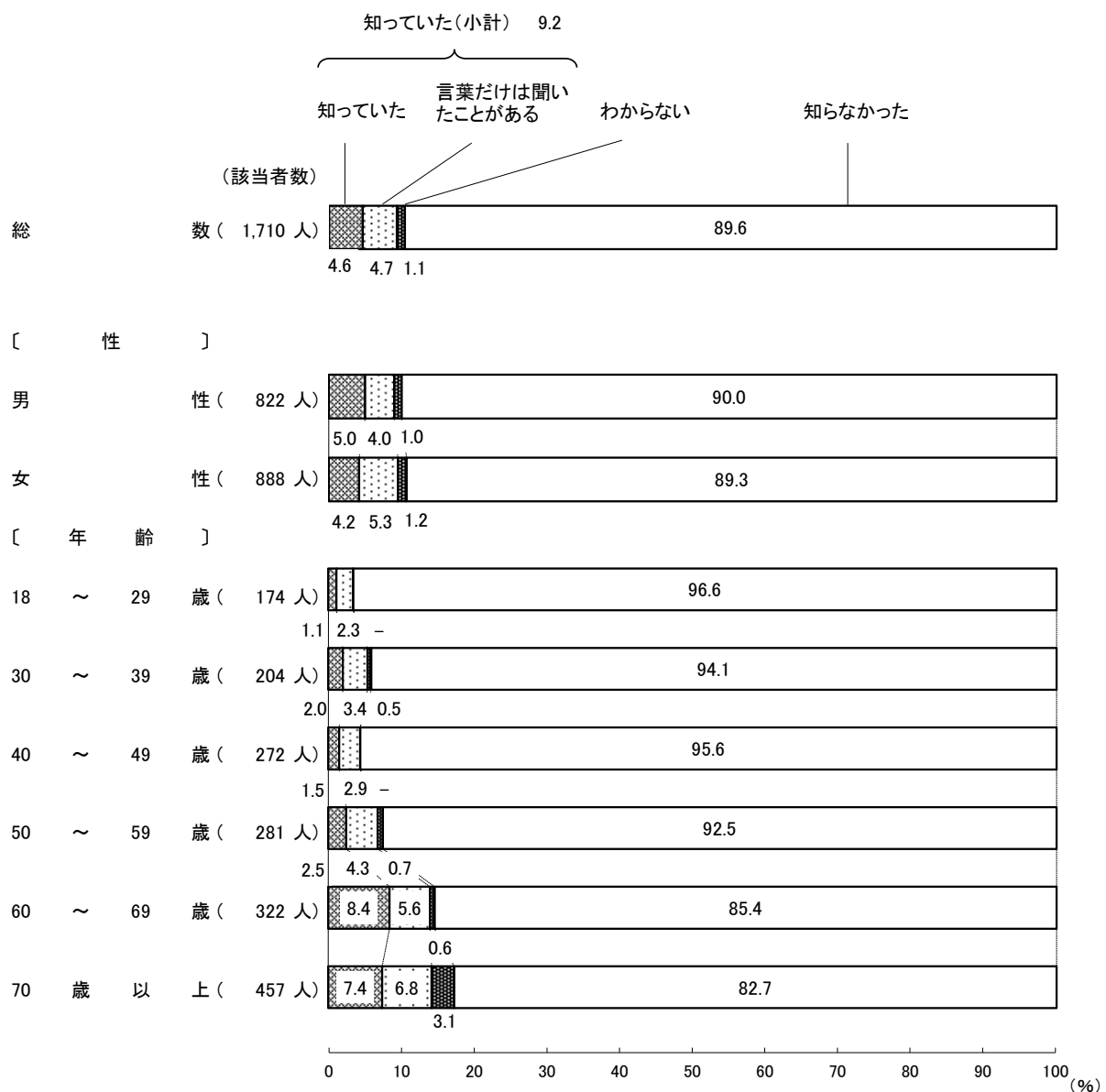


表5 「民族共生象徴空間」の周知度

	該 当 者 数	知 っ て 小 い 計 た	知		知 ら な か っ た	わ か ら な い
			知 っ て い た	言 葉 だ け は 聞 い た こ と が あ る		
	人	%	%	%	%	%
総数	1,710	9.2	4.6	4.7	89.6	1.1
〔都市規模〕						
大都市	448	10.7	6.3	4.5	88.8	0.4
東京都区部	110	15.5	9.1	6.4	84.5	-
政令指定都市	338	9.2	5.3	3.8	90.2	0.6
中都市	697	9.6	4.3	5.3	88.8	1.6
小都市	403	7.4	3.7	3.7	91.1	1.5
町村	162	8.0	3.1	4.9	92.0	-
〔性〕						
男性	822	9.0	5.0	4.0	90.0	1.0
女性	888	9.5	4.2	5.3	89.3	1.2
〔年齢〕						
18～29歳	174	3.4	1.1	2.3	96.6	-
30～39歳	204	5.4	2.0	3.4	94.1	0.5
40～49歳	272	4.4	1.5	2.9	95.6	-
50～59歳	281	6.8	2.5	4.3	92.5	0.7
60～69歳	322	14.0	8.4	5.6	85.4	0.6
70歳以上	457	14.2	7.4	6.8	82.7	3.1
〔従業上の地位〕						
雇用者	824	6.4	2.9	3.5	93.2	0.4
自営業主	145	8.3	4.1	4.1	89.7	2.1
家族従業者	25	12.0	-	12.0	88.0	-
無職	714	12.6	6.7	5.9	85.6	1.8
主婦	374	12.6	5.6	7.0	85.6	1.9
主夫	30	16.7	10.0	6.7	83.3	-
学生	47	4.3	2.1	2.1	95.7	-
その他の無職	263	13.7	8.7	4.9	84.0	2.3
無回答	2	-	-	-	100.0	-
〔職業〕						
管理・専門技術・事務職	429	6.8	3.0	3.7	92.3	0.9
管理職	54	9.3	3.7	5.6	88.9	1.9
専門・技術職	174	8.6	4.0	4.6	90.2	1.1
事務職	201	4.5	2.0	2.5	95.0	0.5
販売・サービス・保安職	278	5.8	2.9	2.9	93.5	0.7
農林漁業職	27	3.7	-	3.7	96.3	-
生産・輸送・建設・労務職	253	8.7	3.6	5.1	91.3	-
無回答	7	-	-	-	100.0	-

表5－参考 「民族共生の象徴となる空間」の周知度

	該 当 者 数	知 っ て 小 い 計 た	知		知 ら な か っ た	わ か ら な い
			知 っ て い た	言 葉 だ け は 聞 い た こ と が あ る		
平成 25 年 10 月 調査	人 1,745	% 12.6	% 5.4	% 7.1	% 85.5	% 1.9

(注) 「あなたは、この国が取り組んでいる「民族共生の象徴となる空間」について知っていましたか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

(2) 「民族共生象徴空間」で参加してみたいイベント

「民族共生象徴空間」において、どのようなイベントなら参加してみたいと思うか聞いたところ、「アイヌの伝統的古式舞踊・楽器演奏の鑑賞や体験」を挙げた者の割合が 35.3%、「アイヌの伝統的料理の調理・試食体験」を挙げた者の割合が 31.9%、「アイヌの伝統的工芸品の製作体験」を挙げた者の割合が 31.0%と高く、以下、「アイヌ文様の刺繍・彫刻体験」(24.3%)、「アイヌの伝統的儀式の鑑賞や体験」(21.7%)などの順となっている。なお、「特にない」と答えた者の割合が 25.4%となっている。(複数回答、上位 5 項目)

都市規模別に見ると、「アイヌの伝統的儀式の鑑賞や体験」を挙げた者の割合は大都市で高くなっている。

性別に見ると、「アイヌの伝統的古式舞踊・楽器演奏の鑑賞や体験」、「アイヌ文様の刺繍・彫刻体験」を挙げた者の割合は女性で高くなっている。

年齢別に見ると、「アイヌの伝統的古式舞踊・楽器演奏の鑑賞や体験」を挙げた者の割合は 18～29 歳で、「アイヌの伝統的料理の調理・試食体験」を挙げた者の割合は 18～29 歳から 50 歳代で、「アイヌの伝統的工芸品の製作体験」を挙げた者の割合は 18～29 歳から 40 歳代で、それぞれ高くなっている。(図 6、表 6)

図6 「民族共生象徴空間」で参加してみたいイベント

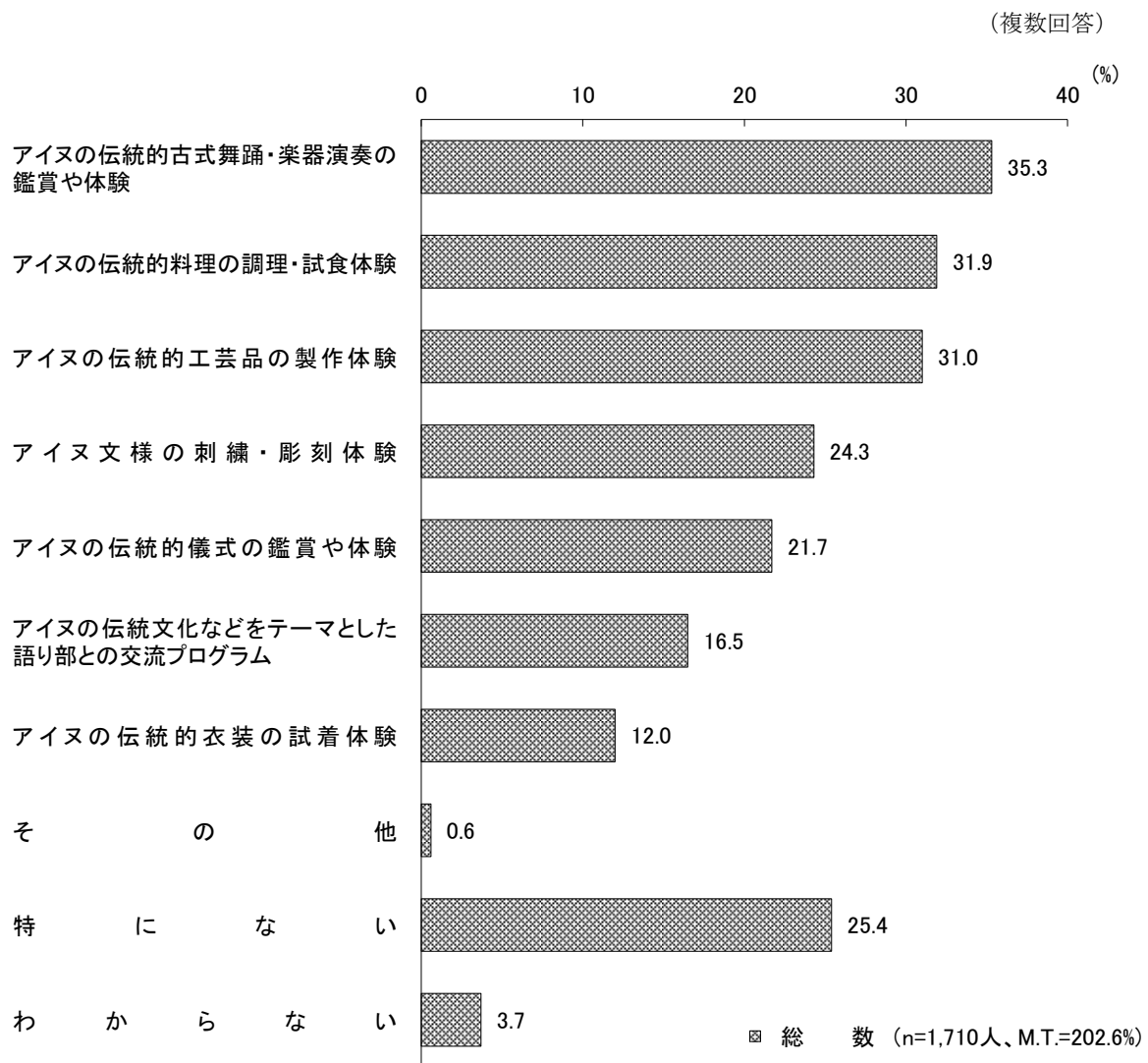


表6 「民族共生象徴空間」で

	該 当 者 数	アイヌの伝統的 古式舞踊・楽器演 奏の鑑賞や体験	アイヌの伝統的 料理の調理・試食 体験	アイヌの伝統的 工芸品の製作体験	アイヌ文様の刺繍・ 彫刻体験	アイヌの伝統的 儀式の鑑賞や体験
	人	%	%	%	%	%
総数	1,710	35.3	31.9	31.0	24.3	21.7
〔都市規模〕						
大都市	448	38.8	34.6	32.6	25.0	25.7
東京都区部	110	40.0	37.3	30.0	25.5	28.2
政令指定都市	338	38.5	33.7	33.4	24.9	24.9
中都市	697	37.6	30.4	31.3	24.1	21.8
小都市	403	29.0	32.5	31.0	24.6	18.9
町	162	31.5	29.6	25.3	22.8	17.3
〔性別〕						
男性	822	32.6	29.8	29.0	17.0	23.1
女性	888	37.8	33.9	32.9	31.1	20.4
〔年齢〕						
18～29歳	174	45.4	44.8	40.8	27.6	26.4
30～39歳	204	33.8	47.5	41.2	28.9	23.0
40～49歳	272	39.0	39.0	36.4	26.1	21.0
50～59歳	281	35.6	38.4	35.6	26.7	25.6
60～69歳	322	38.5	27.6	29.8	25.2	24.2
70歳以上	457	27.6	14.9	17.5	17.9	15.5
〔従業上の地位〕						
雇用者	824	36.5	39.6	36.9	25.7	23.7
自営業主	145	33.1	25.5	22.1	19.3	15.9
家族従業者	25	60.0	36.0	32.0	16.0	24.0
無職	714	33.6	24.4	26.1	24.1	20.6
主婦	374	37.4	28.6	29.7	32.4	20.6
主夫	30	33.3	10.0	33.3	23.3	36.7
学生	47	59.6	46.8	44.7	25.5	34.0
その他の無職	263	23.6	16.0	16.7	12.2	16.3
無回答	2	-	-	-	-	-
〔職業〕						
管理・専門技術・事務職	429	38.7	40.1	37.8	25.9	25.4
管理職	54	40.7	35.2	29.6	22.2	24.1
専門・技術職	174	39.7	42.5	39.1	27.6	27.0
事務職	201	37.3	39.3	38.8	25.4	24.4
販売・サービス・保安職	278	38.5	42.4	33.5	25.9	19.8
農林漁業職	27	37.0	14.8	18.5	14.8	18.5
生産・輸送・建設・労務職	253	31.2	29.6	31.6	22.1	21.3
無回答	7	28.6	42.9	57.1	14.3	14.3

参加してみたいイベント

(複数回答)

アイヌの伝統文化などをテーマとした語り部との交流プログラム	アイヌの伝統的衣装の試着体験	その他	特にない	わからない	計 (M. T.)
%	%	%	%	%	%
16.5	12.0	0.6	25.4	3.7	202.6
17.9	10.0	0.7	24.1	2.7	212.1
17.3	11.8	0.9	27.3	2.7	220.9
18.0	9.5	0.6	23.1	2.7	209.2
15.9	11.8	0.3	25.4	3.6	202.2
13.9	14.6	0.7	27.5	5.2	198.0
22.2	12.3	1.2	24.1	3.7	190.1
19.0	7.5	0.7	28.0	3.5	190.3
14.3	16.2	0.5	23.1	3.9	214.1
16.7	17.2	0.6	8.6	2.3	230.5
13.2	22.1	-	14.2	3.9	227.9
16.2	12.1	-	16.9	1.5	208.1
20.6	10.7	-	21.0	1.4	215.7
20.2	11.2	1.2	27.3	4.3	209.6
13.1	7.0	1.1	43.3	6.6	164.6
18.2	12.6	0.2	17.5	2.4	213.3
19.3	12.4	1.4	36.6	4.1	189.7
16.0	16.0	-	24.0	-	224.0
14.1	11.2	0.8	32.4	5.2	192.4
12.6	14.4	0.5	27.3	4.8	208.3
13.3	-	3.3	26.7	3.3	183.3
23.4	25.5	-	4.3	-	263.8
14.8	5.3	1.1	45.2	6.8	158.2
-	-	-	50.0	50.0	100.0
17.5	13.3	0.5	17.5	2.1	218.6
14.8	1.9	1.9	27.8	1.9	200.0
19.0	17.2	0.6	15.5	3.4	231.6
16.9	12.9	-	16.4	1.0	212.4
18.3	15.8	0.7	19.1	3.6	217.6
18.5	7.4	-	51.9	-	181.5
19.8	8.7	-	22.9	2.8	190.1
14.3	14.3	-	42.9	-	228.6

表6－参考 アイヌ関連イベントの見学・参加意向

(複数回答)

	該 当 者 数	アイヌの伝統的 古式舞踊・音楽	アイヌの伝統的 工芸品の展示会	アイヌの伝統的 家屋の見学会	アイヌの伝統的 儀式	アイヌに関する フォーラムや講演 会	アイヌ人形 劇	アイヌ語 弁論大会	その他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成25年10月調査	1,745	53.5	51.4	32.8	30.4	15.9	15.1	7.6	0.7	15.9	1.8	225.0

(注) 「あなたは、アイヌに関するどのようなイベントなら見学・参加してみたいと思いますか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

3 アイヌに関する施策について

(1) 重点的に行うべきアイヌ関連施策

アイヌの人々に関する施策のうち、どのような取組を重点的に行うべきか聞いたところ、「アイヌの歴史・文化の知識を深めるための学校教育」を挙げた者の割合が45.4%、「アイヌの人々への理解を深めるための啓発・広報活動」を挙げた者の割合が42.5%と高く、以下、「アイヌ文化継承のための人材育成」(30.2%)、「アイヌ文化復興のための地域活動などへの支援」(26.3%)などの順となっている。(複数回答、上位4項目)

都市規模別に見ると、「アイヌの歴史・文化の知識を深めるための学校教育」、「アイヌ文化継承のための人材育成」を挙げた者の割合は大都市で高くなっている。

年齢別に見ると、「アイヌの歴史・文化の知識を深めるための学校教育」を挙げた者の割合は18～29歳、30歳代で、「アイヌの人々への理解を深めるための啓発・広報活動」を挙げた者の割合は30歳代、50歳代で、「アイヌ文化継承のための人材育成」を挙げた者の割合は50歳代、60歳代で、「アイヌ文化復興のための地域活動などへの支援」を挙げた者の割合は18～29歳で、それぞれ高くなっている。(図7、表7)

図7 重点的に行うべきアイヌ関連施策

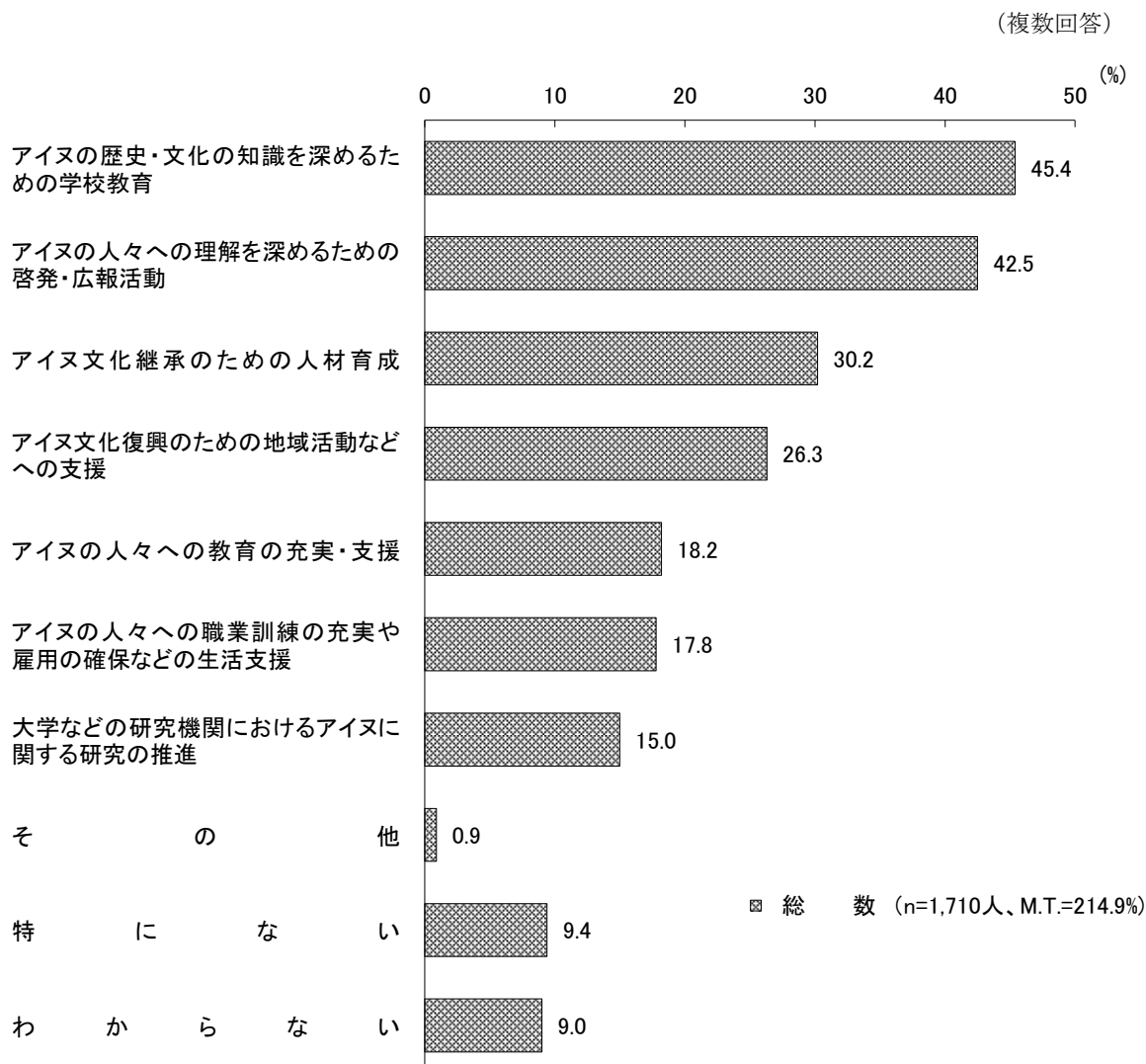


表7 重点的に行うべき

	該 当 者 数	アイヌの歴史・文化の知識を深めるための学校教育	アイヌの人々への理解を深めるための啓発・広報活動	アイヌ文化継承のための人材育成	アイヌ文化復興のための地域活動などへの支援	アイヌの人々への教育の充実・支援
	人	%	%	%	%	%
総数	1,710	45.4	42.5	30.2	26.3	18.2
〔都市規模〕						
大都市	448	51.8	44.9	35.0	28.6	20.1
東京都	110	54.5	40.9	40.9	33.6	15.5
政令指定都市	338	50.9	46.2	33.1	26.9	21.6
中都市	697	41.8	44.2	28.0	24.4	16.6
小都市	403	43.2	38.7	29.0	27.3	17.4
町	162	49.4	38.3	29.6	25.9	21.6
〔性〕						
男性	822	45.3	43.1	31.0	24.2	17.9
女性	888	45.6	42.0	29.5	28.3	18.5
〔年齢〕						
18～29歳	174	60.9	38.5	27.6	33.9	22.4
30～39歳	204	52.9	49.5	29.4	26.5	19.6
40～49歳	272	48.9	46.7	30.9	28.3	19.5
50～59歳	281	47.3	48.4	38.1	28.8	17.4
60～69歳	322	44.7	38.8	36.3	30.1	17.7
70歳以上	457	33.5	37.4	22.1	17.9	16.0
〔従業上の地位〕						
雇用者	824	48.5	46.1	33.7	30.0	19.1
自営業	145	42.8	37.9	31.7	22.1	13.8
家族従業者	25	40.0	32.0	36.0	32.0	24.0
無職	714	42.6	39.8	25.8	22.8	17.9
主婦	374	44.4	42.8	28.9	27.5	19.8
主夫	30	33.3	43.3	26.7	20.0	13.3
学生	47	68.1	34.0	38.3	34.0	31.9
その他の無職	263	36.5	36.1	19.0	14.4	13.3
無回答	2	50.0	-	-	-	-
〔職業〕						
管理・専門技術・事務職	429	53.1	47.8	36.4	29.6	19.3
管理職	54	46.3	50.0	40.7	27.8	29.6
専門・技術職	174	56.3	45.4	37.9	29.9	19.0
事務職	201	52.2	49.3	33.8	29.9	16.9
販売・サービス・保安職	278	47.1	43.9	30.9	30.9	17.3
農林漁業職	27	37.0	18.5	25.9	29.6	22.2
生産・輸送・建設・労務職	253	39.1	42.3	32.0	24.5	17.8
無回答	7	57.1	57.1	42.9	57.1	14.3

アイヌ関連施策

(複数回答)

アイヌの確保などの生活支援の充実や	大学などの研究機関におけるアイヌ	その他	特にない	わからない	計 (M. T.)
%	%	%	%	%	%
17.8	15.0	0.9	9.4	9.0	214.9
19.2	18.8	1.3	7.6	6.9	234.2
17.3	18.2	2.7	7.3	5.5	236.4
19.8	18.9	0.9	7.7	7.4	233.4
16.8	12.9	0.7	10.3	8.6	204.3
17.9	14.1	1.0	10.2	12.2	210.9
18.5	15.4	0.6	8.6	8.6	216.7
18.7	16.3	1.2	9.4	7.5	214.6
17.0	13.7	0.7	9.5	10.4	215.1
17.2	15.5	-	1.1	4.0	221.3
14.2	18.6	-	3.4	4.9	219.1
16.9	12.5	0.7	7.7	2.9	215.1
17.4	14.6	0.7	7.8	6.0	226.7
22.7	16.8	1.2	9.3	11.2	228.9
17.1	13.6	1.8	17.3	16.6	193.2
20.1	15.7	0.8	5.7	5.9	225.7
13.1	15.9	2.1	13.1	7.6	200.0
20.0	16.0	4.0	16.0	8.0	228.0
16.1	14.0	0.7	12.7	12.7	205.2
14.7	12.3	0.5	11.0	12.6	214.4
23.3	20.0	3.3	6.7	3.3	193.3
23.4	14.9	-	-	2.1	246.8
16.0	15.6	0.8	18.3	16.0	185.9
-	-	-	-	50.0	100.0
18.4	17.7	0.9	4.4	5.1	232.9
20.4	13.0	1.9	5.6	5.6	240.7
20.1	18.4	1.7	3.4	5.2	237.4
16.4	18.4	-	5.0	5.0	226.9
20.1	15.5	1.4	7.2	5.8	220.1
22.2	18.5	-	25.9	11.1	211.1
18.6	11.9	1.2	9.1	7.9	204.3
28.6	28.6	-	14.3	14.3	314.3

表 7 - 参考 重要だと思うアイヌ関連施策

(複数回答)

	該 当 者 数	アイヌの歴史・文化の知識を深めるための学校教育	アイヌの人々への理解を深めるための啓発・広報活動	アイヌ文化継承のための人材育成	アイヌ文化の更なる振興	アイヌの人々への教育の充実・支援	アイヌの人々への職業訓練の充実や雇用の確保などの生活支援	その他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M. T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成 25 年 10 月 調査	1,745	51.3	43.4	31.1	27.1	25.4	21.5	1.1	7.2	9.3	217.5

アイヌ政策に関する世論調査

平成30年7月

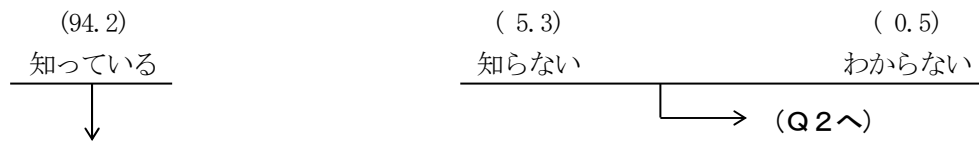
調査時期：平成30年6月28日から平成30年7月8日
調査対象：全国18歳以上の日本国籍を有する者3,000人
有効回収数(率)：1,710人(57.0%)

話は変わりますが、次に「アイヌ政策」に関してお聞きします。

1 アイヌという民族について

(全員の方に)

Q1 あなたは、アイヌという民族がいることを知っていますか。それとも知りませんか。



(SQ1は、Q1で「知っている」と答えた方に)

SQ1 [回答票1] あなたは、アイヌについてどのようなことを知っていますか。

この中からいくつでもあげてください。(M.A.)

(n=1,611)

- (77.3) (ア) アイヌの人々が先住民族であるということ
- (65.7) (イ) アイヌの人々が独自の伝統的文化を形成してきたこと
- (35.6) (ウ) 中世以降、和人(アイヌの人々以外の日本人)との間に交流や争いなどがあったこと
- (40.0) (エ) 明治時代以降、多くのアイヌの人々が非常に貧しく独自の文化を制限された生活を余儀なくされたこと
- (34.3) (オ) 現代では、他の多くの日本人と変わらない生活様式で生活しており、北海道以外にも全国各地で暮らしていること
- (34.1) (カ) 個人や団体としてアイヌ語や伝統文化の保持、継承、新しい文化の創造などに取り組んでいるアイヌの人々がいること
- (0.9) その他 ()
- (4.3) 特にない
- (2.3) わからない (M.T.=294.6)

(SQ2は、Q1で「知っている」と答えた方に)

SQ2 [回答票2] あなたは、アイヌ文化についてどのようなことを知っていますか。

この中からいくつでもあげてください。(M.A.)

(n=1,611)

- (64.6) (ア) アイヌ語という独自の言語があること
- (37.1) (イ) 豊かな表現で語り伝えてきた口承文芸・民話があること
- (65.3) (ウ) 衣服や服飾品を彩る独特なアイヌ文様があること
- (37.9) (エ) 伝統的な古式舞踊があること
- (34.9) (オ) アイヌ独自の民族楽器があること
- (39.0) (カ) 盆や衣服などアイヌ独自の伝統的な工芸品があること
- (32.7) (キ) アイヌ独自の信仰・儀式があること
- (25.0) (ク) アイヌ独自の伝統的な家屋があること
- (0.2) その他 ()
- (8.4) 特にない
- (3.8) わからない (M.T.=349.0)

(全員の方に)

Q 2 [回答票3] あなたは、アイヌという民族について国民の皆様を知っていただくために、どのような取組を重点的に行うべきだと思いますか。この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

- (67.2) (ア) テレビ番組や新聞を利用した情報発信
- (17.2) (イ) 広報誌・パンフレットの配布、ポスターの掲示
- (34.8) (ウ) インターネットによる広報活動
- (24.4) (エ) 講演会・シンポジウム・フォーラム・交流イベントの開催
- (35.3) (オ) アイヌの伝統的食事・衣服・楽器などの体験機会の提供
- (15.6) (カ) キャラクターなどを活用した広報活動
- (0.8) その他 ()
- (5.1) 特にない
- (4.9) わからない (M.T.=205.4)

2 「民族共生象徴空間」について

(【資料】を提示して、調査対象者によく読んでもらってから、以下の質問を行う。)

【資料】 「民族共生象徴空間」について

「民族共生象徴空間」は、アイヌの歴史や文化について、国民の皆様を知っていただくともに、アイヌ文化を将来に向けて継承したり発展させたりするための拠点として、2020年4月の一般公開に向けて北海道札幌市の約90km南に位置する白老町しろおちちょうに整備が進められています。

国立公園である象徴空間の中には、博物館や伝統的家屋群のほか、舞踊の見学・体験や国際会議を行うことができる施設などを整備する予定です。

(全員の方に)

Q 3 [回答票4] あなたは、「民族共生象徴空間」について知っていましたか。それとも知りませんでしたか。この中から1つだけお答えください。

- (4.6) (ア) 知っていた
- (4.7) (イ) 言葉だけは聞いたことがある
- (89.6) (ウ) 知らなかった
- (1.1) わからない

Q 4 [回答票5] あなたは、「民族共生象徴空間」において、どのようなイベントなら参加してみたいと思いますか。この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

- (35.3) (ア) アイヌの伝統的古式舞踊・楽器演奏の鑑賞や体験
- (21.7) (イ) アイヌの伝統的儀式の鑑賞や体験
- (31.0) (ウ) アイヌの伝統的工芸品の製作体験
- (31.9) (エ) アイヌの伝統的料理の調理・試食体験
- (24.3) (オ) アイヌ文様の刺繍・彫刻体験
- (16.5) (カ) アイヌの伝統文化などをテーマとした語り部との交流プログラム
- (12.0) (キ) アイヌの伝統的衣装の試着体験
- (0.6) その他 ()
- (25.4) 特にない
- (3.7) わからない (M.T.=202.6)

3 アイヌに関する施策について

(全員の方に)

Q 5 【回答票6】 あなたは、アイヌの人々に関する施策のうち、どのような取組を重点的に行うべきだと思いますか。この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

- (42.5) (ア) アイヌの人々への理解を深めるための啓発・広報活動
- (45.4) (イ) アイヌの歴史・文化の知識を深めるための学校教育
- (17.8) (ウ) アイヌの人々への職業訓練の充実や雇用の確保などの生活支援
- (18.2) (エ) アイヌの人々への教育の充実・支援
- (30.2) (オ) アイヌ文化継承のための人材育成
- (26.3) (カ) アイヌ文化復興のための地域活動などへの支援
- (15.0) (キ) 大学などの研究機関におけるアイヌに関する研究の推進
- (0.9) その他 ()
- (9.4) 特にない
- (9.0) わからない

(M.T.=214.9)